江迎町 まち歩きマップ

江迎町

～歴史ある港町～

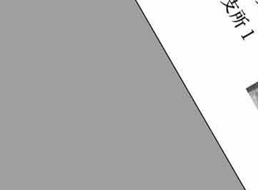
佐世保市江迎町には、平戸往還の宿場町として栄えた時代の文化や空気が今も大切に受け継がれています。

約 500 年続く「神楽」では、子どもも獅子舞をします。また春の「雛まつり」では、古くから地域に伝わる「雛飾り」が多くの観光客で賑わい、街は華やかな雰囲気に包まれます。

春と四季折々の祭りの風景に出会う、港町の人たちと江迎町のよさをぜひ感じてください。

江迎本陣跡

江迎町跡の路地



平戸入泉 港橋ノ滝

寺院本堂の美しき紅葉

徳田真寿（しんじゅ）

頓智（とんち）殿様と呼ばれた男

江迎町の人物を語るときに真っ先に名前が上げられるのが、“頓智殿様”徳田真寿氏です。慶応3(1867)年に生まれ、明治・大正・昭和の時代を生きた徳田氏は、天下の奇人として知られ、その往時をしのぶ、三角形の、逸品の数々が江迎町に残されています。徳田氏は「三角は円に通じる。三角形を合わせると円になる。円は時間、空間、無限の発展性を表し、安定性もあり、一円融合の精神ともつながる。三角形のお膳をつき合わせると、みんな輪となって喜びを共にすることが出来る。」と丸い車座となり、その変形も三角形の素内板が建てられています。また、徳田真寿氏の遺品である三角形のお膳やお皿などの調度品は、佐世保市役所江迎支所1階に展示してあります。

徳田真寿氏

江迎町 まち歩きマップ

江迎町の見どころ

【A】生活改善センター（藩主の祠あり）
祠／0956 - 65 - 2551

【B】石鳴谷観音堂
祠／0956 - 65 - 2759

【C】佐世保海産（藩主うどん発祥の店）
祠／0956 - 66 - 3434

【D】中村屋餅店（宮工場）
祠／0956 - 65 - 2270

【E】なでくり祠
祠／0956 - 66 - 6590

【F】松浪鳴動井
祠／0956 - 66 - 2359

藩主の祠（祠内は、藩主の生き写しの木像が安置されています。）

江迎町の四季のおまつり・催事

- 春 4月下旬 ・・潜龍酒造 本陣蔵開き春の陣
- 夏 8月23日 ・・江迎千灯籠まつり
- 　 24日 ・・（水かけ地蔵 道行き ほか）
- 秋 10月上旬 ・・潜龍酒造 本陣蔵開き秋の陣
- 　 10月28日 ・・きねかけ祭り
- 　 11月下旬 ・・寿福寺の逆さ紅葉の見頃
- 冬 12月上旬～ ・・クリスマスファンタジア
- 　 12月31日 ・・寿福寺大晦日
- 　 3月3日 ・・肥前えむかえ鏑玉まつり
- 　 ～4月上旬

江迎千灯籠まつり

毎年8月23日と24日の2日間開催される「江迎千灯籠まつり」。このお祭りは今から約500年前、戦国時代末期に始まったといわれています。

子どもたちが神輿に乗せたお地蔵様を担いで寿福寺から嘉例川へ。川ではお地蔵様をかついで、元気よく水をかけ、その後、子どもたちはお地蔵様をかついで、無病息災を祈願します。各家々も、子どもたちに水をかけて、無病息災を祈願しまする。このお祭りには、灯籠を軒先に飾る風習があり、その数が増えいつしか千灯籠と呼ばれるようになりました。現在では、江迎中央公園のタワーをはじめ、約1万個の灯籠が掲げられる県北を代表するお祭りに。江迎の人々が守り、受け継いでいる祭りの風景です。（灯籠には2,000円でお名前を入れることができます。）

＜佐世保市 江迎町へのアクセス＞

バス	福岡 - 高速バス（約1時間40分）- 佐世保駅前
	長崎 - 高速バス（約1時間30分）- 佐世保駅前
	（乗換）佐世保駅前 - 西肥バス（約70分）- 江迎町
電車	博多駅 - JR(約1時間40分) - 佐世保駅
	長崎駅 - JR(約1時間40分) - 佐世保駅
	（乗換）佐世保駅 - MR(約1時間) - 江迎鹿町駅
自家用車（高速道路）	福岡 - 佐々 IC - 江迎町（約2時間）
	長崎 - 佐々 IC - 江迎町（約2時間）

＜お問い合わせ＞

江迎活性化協議会事務局（担当：久保田）090 - 8663 -9515

協議会ホームページ　http://emukae-k.com/

＜発行＞ 江迎活性化協議会　平成28年3月発行

（2015年佐世保市提案公募型協働事業・景観まち育て事業）